



明けましておめでとうございます

今年が皆様にとってよい年でありますように衷心より祈念致します。
「光陰矢のごとし」の例え通り、拙院も今年の2月で開業してから早8年が経ちます。
今年「寅年」ですので、それにちなんで「虎」のように狙った目標を見据えて集中したいと考えています。私たちの目標は『専門的な知識を判りやすくお伝えすること』と『一期一会の気持ちで、糖尿病を持ちながら生きている方々を暖かく励ます』です。スタッフとともに今年も一步一步『理想の医療』に向けて前進できればと思います。今後も少しでも皆様のお役に立ちたいと精進してまいります。

昨年末は国の方針でインフルエンザワクチンが小児優先となったため、糖尿病やその他の基礎疾患をお持ちの成人のワクチンが大変不足する事態となり、皆様に大変ご迷惑をお掛けしました。今年の1月には不足が解消されると思われまます。また基礎疾患がなくても65歳以上の方はワクチンを受けることが出来るようになりましたのでスタッフにお声をお掛けください。

本年も宜しくお願い申し上げます。



「冬の料理教室」で年末年始の食事のヒントをゲット！ 今年もあなたも参加してみてもいいですか？

12月13日に9名で当院のセミナー室で料理教室を実施しました。(スタッフ3名、元スタッフの井元さんも自分で焼いたおいしいパンを持参して参加してくれました)
おせち料理としても使える数の子、えびの旨煮、イカの松笠焼き、田作り、紫芋のきんとん、きのこスープのカプチャーノ仕立て、デザートのエイチゴゼリーなど美味しく出来上がりました。高カロリーになりがちなおせち料理を低カロリーで美味しく作ることができて、皆で大喜びで食べました。久しぶりの料理教室で(今年は春と今回の2回)おしゃべりも弾み和やかな雰囲気の中で終わりました。次回はまた春に行なう予定です。同じ病気を抱えている人の体験や意見を聞いたり、話をすることでお互いの励ましになれば幸いです。是非あなたも参加ください。(文責：大場)



糖尿病の新しい薬 (担当：看護師 大場)

あけましておめでとうございます。皆様は今年をどのような1年にしたいと思っていられるでしょうか？穏やかな良い1年にしたいですね。新しい年明けにふさわしく、新薬のお話をさせていただきます。

2型糖尿病の薬としては、約10年ぶりの新しい種類の薬が登場しました。今までとは違う作用で血糖を下げる薬が開発されたのです。GLP-1は食後に小腸から分泌され、食後の血糖を下げる作用を持っています。今回の新薬はこのホルモンの効果を増強するDPP-4阻害薬という薬剤です。どの時間に服用しても1日1回の内服で食後の高血糖を抑制します。また①低血糖を起こしにくい点、②体重増加をおこさない点、③インスリンを作っている膵臓のβ細胞の減少を抑制する可能性がある点などから2型糖尿病の治療法が広がると期待されています。

また今年の春にはさらにGLP-1誘導体が認可されそうです。これらはDPP-4阻害薬とは異なり注射の薬ですが、DPP-4阻害薬に比べると効果が強く、体重を減少させる作用も有すると考えられます。作用時間の長い製剤(週に1回の注射など)も開発されていて利用可能になりそうです。

さらに、尿糖をわざとたくさん出させるようにして血糖値を下げる薬やインスリンの口腔内噴霧剤なども開発されていて、日本でも認可される可能性があります。血糖コントロールを良好に維持しておけば新しいこれらの薬が利用できる可能性もぐっと広がります。皆様にとって、今年が実りある1年になりますようにスタッフ一同心より願っています。

1月						
S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30
2月						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

新型インフルエンザは12月に一度患者数が減ったと報道されましたが、当院ではインフルエンザ患者の減少の印象はありません。今後の流行状況に注意して、自己防衛を怠りなく。